



院内インフォメーション

長かった冬が今年も終わりました。外出しやすい季節になってきた今こそ、お体の定期健診はいかがでしょうか？当院までぜひご相談ください。

■ 人間ドックのご案内

みなさんは人間ドックを毎年受けていますか？人間ドックは生活習慣病やがんを無症状のうちに発見し、適切な診療に早期に結びつけるチャンスです。ぜひご活用を！



受診のメリット

こんな病気が発見できます！

- ① 糖尿病や脂質異常症、高血圧症などの生活習慣病
- ② 全身のがん
- ③ 脳疾患（脳梗塞・脳卒中など）
- ④ 心臓疾患（心筋梗塞・狭心症など）
- ⑤ 肺疾患（肺がん・肺気腫など） など

ご予約の方法・スズメ

完全予約制。詳細はHPから！

年度末は予約殺到の傾向にあるため予想以上にお待たせしてしまうことがあります。比べて毎年4月～8月はご予約がスムーズに取れる傾向にあります。毎年受診すると去年のご自身の状態と比較できますので、年度月上旬の定期受診がオススメです。

■ マイナ保険証ご利用のススメ

昨年より、当院でもマイナンバーカードを用いた保険確認ができるようになりました。顔認証で自動化された受付方法で、スムーズにご利用いただけます。ぜひご活用ください。

利用のメリット

マイナ保険証、便利ポイントはココ！

医療機関等を受診の際にマイナ保険証を使うと、ご自身のお薬の処方履歴や過去の健診の情報がオンラインで確認できます。これにより以前に比べて、より正確で適切な診断・処方が受けやすくなるのです。

このポスターが目印！

マイナ受付
対応しています
顔認証や顔写真、健康保険のマイナ
マイナンバーカード番号を照合し、
マイナ保険証として使えます。

マイナンバーカードを提示して受診
このステッカーが目印！
マイナ受付

最新に整備する本館はご利用ください
詳しくは、マイナポータル

出典：厚生労働省ホームページ
(https://www.mhlw.go.jp/stf/index_16745.html)

編集後記

穏やかな春の日差しが心地よい毎日です。歳を重ねるごとに季節の移り変わりが早く感じられるようになりました。今年は桜の開花が平年より早いそうで、この号が発行される頃には、横浜周辺の桜は咲いているかもしれません。お花見に行くのも楽しいですが日常生活の中で、ふと見る桜も良いものです。桜とともに、春を楽しみ、新年度も元気に過ごしましょう！

広報戦略部 和田

当院の基本理念

私たちの病院の使命-Mission-
質の高い急性期医療を通して地域社会に貢献します。



日本医療機能評価機構
認定病院 (3rdGVer.2.0)



JQA-QMA14243
ISO9001:2015
認証取得病院



ピンクリボン運動
を応援します。

ひかり



Kikuna Memorial Hospital News Letter

Contents



● 特集
前立腺肥大症

- 看護部だより
- お役立ち! KMh部門紹介 vol.6
- KMh -NEWS-
- KMh -TOPIC-



〒222-0011 横浜市港北区菊名4-4-27
【TEL】045-402-7111(代表) 【FAX】045-402-7331
【URL】<http://kmh.or.jp/> 【MAIL】kikuna@kmh.or.jp

前立腺肥大症

60~70代男性の7、8割は前立腺肥大があることが知られています。

前立腺は尿をためる膀胱の下で尿道を囲むように位置しており、60~70代男性の7~8割は前立腺肥大があることが知られています。前立腺が大きいこと自体は病気ではありませんが、尿道閉塞に伴う症状を呈すると前立腺肥大症と言われ治療が必要です。

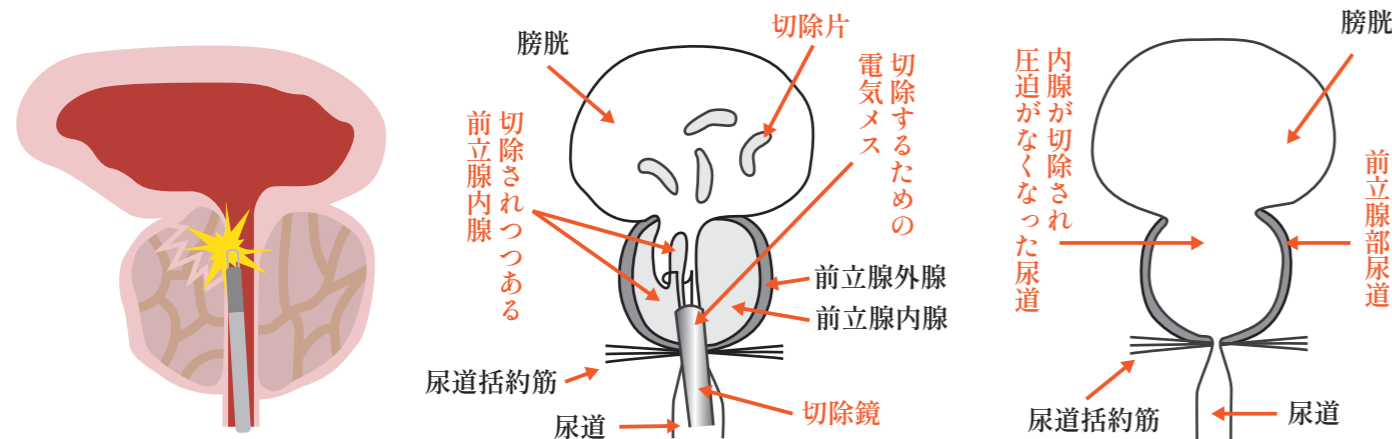
症状は程度により徐々に進行していきます。最初は軽度の排尿困難や頻尿からはじまり、徐々に残尿が増加し、尿をするときに力むようになり、排尿の始まりから終わりまでの時間が長くなっていきます。最終的には自力での排尿が困難になり腎不全をきたすことがあります。また前立腺肥大は過活動膀胱の原因の一つにもなっており、突発的に襲ってくる尿意や頻尿や失禁の原因にもなったりします。

投薬加療では尿道の出口を広げる薬や、前立腺を小さくする薬、膀胱の緊張を和らげる薬などを駆使して症状の緩和を図ります。しかし、これらの薬の長期内服を望まれない方、尿閉を繰り返す方、血尿や膀胱結石を合併する場合などは手術が必要になります。一般的に前立腺肥大症を加療中の患者さんの7%程は最終的に手術治療を受けるとされています。



当院で行っている前立腺肥大症に対する手術治療は2つです。

1 経尿道的前立腺切除術 (TURP: Transurethral Resection of Prostate)



- 50年以上の歴史があり、現在もガイドラインで高い推奨度維持した治療法です。
- 前立腺内部を電気メスで逐一切除するため、出血が少し多くなりますが、前立腺の被膜付近まで確実な切除が可能です。
- 切除した組織の中に前立腺癌がないかを調べることもできます。

- 手術時間は前立腺の大きさにもよりますが30分から2時間ほどかかります。
- 基本的には血液をサラサラにする薬は中止して手術をすることになります。
- 当院では生理食塩水を用いたTURis (Transurethral Resection in Saline)を採用しており、術後の低Na血症などの合併症も避けることができます。

2 経尿道的水蒸気治療 (WAVE: Water Vapor Energy Therapy)

本邦では2022年9月から保険適応となった
新しい手術方法です。
(欧米では10年ほどの実績があります)



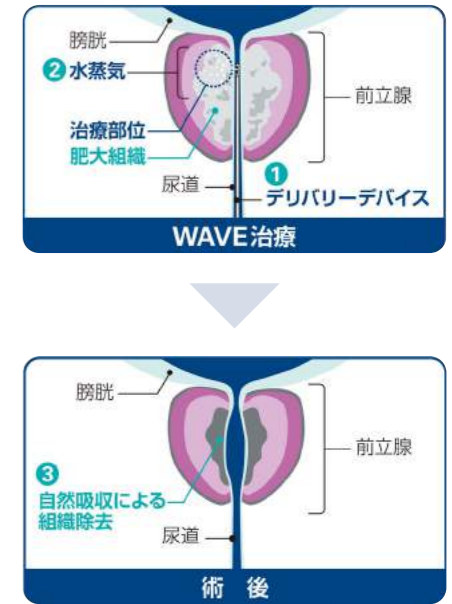
写真提供: ホストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

前立腺内部に103℃の水蒸気を噴霧し1~3か月かけて壊死した前立腺が徐々に縮小します。

壊死しなかった前立腺が残るため治療の有効性に疑問を感じられる方もいらっしゃるかもしれませんが、術後3か月から下部尿路症状が48%改善し、尿の勢いが44%改善するとされています。術後5年時点で再度手術が必要になる方は4.4%、薬物治療を再開する方は11.1%とされており、長期にわたり有効な治療です。

簡便かつ負担の少ない治療で、手術時間は10分以内に終了し、血液をサラサラにする薬を内服していても治療可能です。通常翌日には退院が可能です。

高齢で合併症のある方により適しています。自身で排尿できることにより、自立し自尊心が保たれた生活に貢献します。



具体的な合併症例

- ① 体力の低下で長時間の手術に耐えられない。
- ② 心筋梗塞治療後や脳梗塞などのリスクがあり血液サラサラの薬がやめられない。
- ③ 糖尿病で傷治りが良くないことが予想される。
- ④ 認知症や術後のせん妄状態が心配な方など



様々な通常の治療が難しい方でも、
施行しやすい治療です。

治療後は数日~1週間以内で尿道カテーテルの抜去が可能です。完全に尿が出せない状態であった方は、術後1か月ほど尿道カテーテルを留置した後に抜去します。

患者さま、ならびに連携病院の先生方へ

患者様...少しでも排尿に関するお悩みがあれば是非お気軽にご相談ください。

連携病院の先生方...手術時間も短く抗凝固薬の中止も不要なため早期の治療介入が可能です。ご紹介から治療まで遅滞なき医療連携をモットーとしています。適応の患者さまがいらっしゃいましたら是非ご紹介ください。

PROFILE / 泌尿器科 部長 中里 武彦

日本泌尿器科学会専門医・指導医
泌尿器腹腔鏡技術認定医
日本内視鏡外科学会技術認定医
内分泌代謝科(泌尿器科)専門医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
日本性感染症学会認定医
泌尿器ロボット支援手術プロクター認定
仙骨神経刺激療法講習修了
SpaceOAR System Appliers Training 修了
緩和ケア研修修了
ポトックス講習・実技セミナー修了腎臓機能障害
ぼうこう又は直腸機能障害指定医



\\ お役立ち! \\

KMH部門紹介

Vol.6 臨床検査科

臨床検査科ってどんな部門？

「撮って計って、採って測る。」

医師の指示のもと、採血、検体検査、生理検査など、色々な種類の検査を行います。正しい検査結果、検査情報を医師に報告し、病気の診断や治療効果の判定、早期発見や予防に貢献することで、医師と患者さんを繋ぐ重要な役割を担っています。



主な業務内容

- 静脈血採血(入院・外来) ■ 生化学的検査 ■ 血液学的検査
- 免疫血清学的検査 ■ 微生物学的検査 ■ 一般検査
- 輸血検査 ■ 超音波検査 ■ 心電図(循環器系)検査
- 脳波検査 ■ 呼吸機能検査



心電図検査とは

心電図検査では心臓の拍動を電気信号として捉え、脈の乱れ・胸の痛み・動悸・呼吸困難・失神などの症状の時や原因不明のショックなどを診断する為に行います。手術前に行うこともあります。



【心電図検査の注意点】

足首に電極をつけますので、ストッキングやタイツ着用の際は脱いでいただきますので、着脱しやすい服装で来院してください。

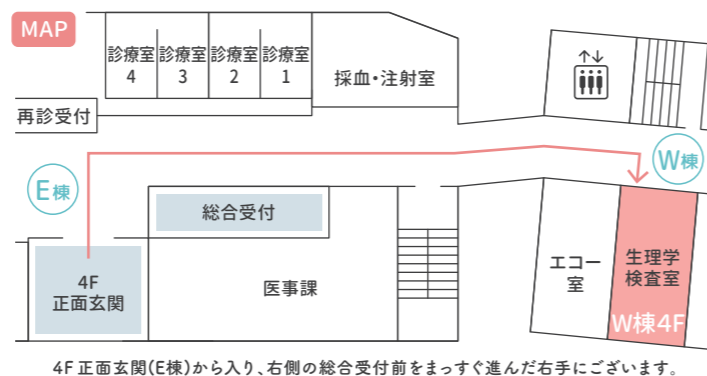


場所

4階(W棟) 生理学検査室

受付時間

月～土
8:30～外来診察終了時まで



採血案内システムの更新

2023年11月より、整理券発行機、呼び出しモニターが新しくなりました。旧モニターより表示が大きくなり、採血室内も表示に合わせた配置にしています。また整理券発行機も音声案内が加わり使いやすくなりました。これからも、よりわかりやすいご案内ができるよう改善したいと思います。

採血検査とは

採血は、病気の診断や病状の把握、治療効果の判定などを行うために必要な医療行為です。

静脈血採血は、主に前腕屈側部の表在静脈である肘正中皮静脈、尺側皮静脈、橈側皮静脈で行われますが、採血が困難な場合は手背の皮静脈で行うこともあります。

穿刺する血管の太さや位置などによって用具を使い分けています。30種類の以上の採血管(血液を入れる容器)があり、医師から依頼された検査項目によってそれぞれ対応した採血管を選んでいきます。



【採血検査の注意点】

以下の項目に当てはまる場合は、採血前にお申し出ください。



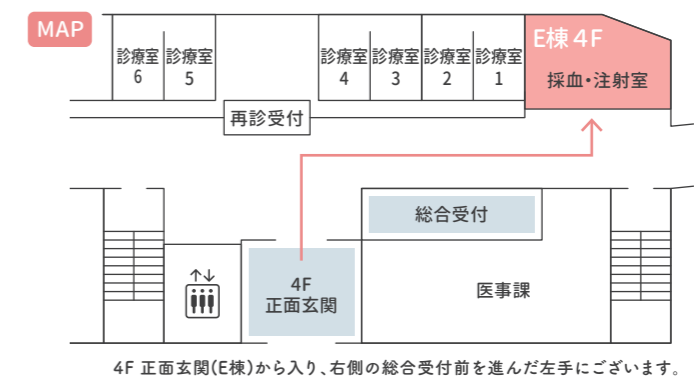
- 採血をして気分が悪くなったことがある
- 採血をしてはいけない部位がある(透析用シャントなど)
- アルコール綿による消毒でかぶれる
- 絆創膏でかぶれる
- 血液をサラサラにする薬(ワーファリンなど)を服用している

場所

4階(E棟) 採血室

受付時間

月～土
8:00～外来診察終了時まで



【参考資料】一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会HP / 標準採血法ガイドライン JCCLS日本臨床検査標準協議会 発行

NEWS1 1/4 新年初顔合わせ

当院屋上にて、毎年恒例の『新年初顔合わせ』を行いました。医局や各部署の所属長が集まって挨拶を交わし合い、新たな年の幕開けに向け、改めて気を引き締めることができました。本年も職員一丸となり、よい良い病院づくりを目指してまいります。皆さま、今年もどうぞよろしくお願いたします。



NEWS3 1/21 港北区駅伝大会

毎年当院から港北区駅伝大会に救護員として救急救命士を派遣しています。この大会は、昭和61年の第1回開催から続く伝統あるもので、駅伝を通して区民が交流することのできる、「港北区の冬の風物詩」として親しまれています。今年は救急救命士派遣に加えて、選手としても大会に参加しました。村田病院長をはじめ、体力自慢の選りすぐりの職員と佐々木病院の職員様で連合チームを結成して大会に臨み、3位入賞を果たしました。



菊名記念病院のHOTなニュースをご紹介します。



NEWS2 1/20 令和6年 YMG新年会

前回の2020年から数え、4年ぶりの開催となる『YMG新年会』を行いました。会場となったホテルには、グループ職員総勢約500名が集まり、新年の目標や抱負を全員で共有しました。

いまだ残る新型コロナウイルス感染症の影響・超高齢化社会への対応など様々な課題はありますが、こうして無事に開催できた事への感謝を忘れず、グループ一同職務に励んでまいります。



NEWS4 1/30 保育室 節分

「鬼は外、福は内！」と練習では元気いっぱいだった子どもたちでしたが、鬼が登場すると表情が一変！怖がりながらも立ち向かったり泣いて保育者の背中へ隠れたり、反応は様々でした。最後は皆で記念写真。鬼さんに「またね」と挨拶することができました。



NEWS5 2/14 初午祭

菊名神社の宮司様をお迎えし、屋上にて初午祭を行いました。“初午(はつうま)”とは、2月最初の午の日を指します。稲荷神社の縁日でもあることから、当院では毎年祭事を行っております。当日は冷たく澄んだ空気が心地よい晴天に恵まれ、無事に参加者一同で新しい年の泰安と患者さまの健康をお祈りする事ができました。更なる地域貢献を果たすべく、本年も病院全体で力を合わせてまいります。



BREAK 今月の表紙紹介



3月号の表紙は…『春と可憐な桜』
すべてのはじまり、春。草花は芽吹き、人々は新生活をスタートさせ、期待に胸躍らせるこの季節。桜の花びらもその門出を祝うかの様に優しく揺れています。



BREAK 診療担当表

当院の外来は、完全予約制です。曜日ごとの診療スケジュール・ご予約窓口の番号は、隣のQRコードからご参照いただけます。

携帯やスマートフォンからアクセスが可能です。



KENSAN - 研鑽 -

Volume 13

当院では様々な人材育成研修に取り組んでいます。院全体で次世代スタッフを育てるべく工夫して立案し参加者も真摯に研鑽を積んでいます。当コーナーではその学びの様子を紹介します。

KENSAN1 1/13 看護部主催 第9.10回新人研修 2/10 多重課題 (1月) 医療安全フォローアップ (2月) 急変時の対応、インシデントが生じた際の対応

今回は、1月に多重課題・2月に医療安全のフォローアップ研修を行いました。多重課題では、今後経験年数が上がるに伴い受け持ち人数が増え、患者さまやスタッフより一度にたくさんの依頼がきたケースを想定し、パニックに陥らないよう、安全に対処ができるよう学びました。2月の医療安全フォローアップ研修では、医療安全管理室・新村室長から大事故後の初期対応や医療機器から得られる情報について学び、臨床工学科・小野寺技士長から、DCについての講義・実技・点検方法についての説明を受けました。新人の技術研修もいよいよ最後になりました。来年度も患者さま中心の安全な看護の提供を行っていききたいと思います。



KENSAN2 1/31 人材開発室主催研修 多職種研修

後期の多職種研修は、前半講義・後半実地の2部制で行いました。前半の講義では、病院を取り巻く医療環境を背景になぜチーム医療が求められているのかという内容について、後半の実地研修では、見る・知るということから始めてもらえるよう病棟業務をメインにして体験してもらいました。最後に集合研修として、知らなかったこと、思っていたことと違ったことなどを参加メンバーで共有しました。役割の異なる部署が一堂に会して研修を受けることで、お互いへの理解がより深まり、「菊名記念病院」というひとつのチームとしての意識を再度強化することができました。

